

モニタリング結果報告書 (令和5年度)

1. 施設概要

施設名	七沢森林公園		
所在地	厚木市七沢・上古沢・小野		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/nanasawa/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和63年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (厚木土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
利用状況の評価はB、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はAとなった。 利用者数は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、旅行熱が高まり、インバウンドも含め観光地への来訪が多くなる一方、来園者数は減少し、加えて7月から9月まで気温が高い日が多くなり来園者数が伸びず、12月、1月にやや持ち直したものの結果として前年を下回り、目標値の達成には至らなかった。しかし、その他の評価項目については良好であった。 今後も、公園管理の基本となる着実・丁寧な植物管理や施設管理を継続するとともに、利用者のニーズに対応した地域イベントの実施を強化する等、更なる利用者の獲得に努めてもらいたい。
<各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 七沢森林公園は、市街地に近いが、森林の中をゆっくり散策できる緑豊かな里山公園である。多くの種類のシャクナゲが咲く「シャクナゲ園」、工芸体験ができる「森のアトリエ」、バーベキューが楽しめる「ピクニック広場」、イベントの会場としても利用される「森の民話館」が人気の施設である。「資源循環型管理の実施」として、公園の間伐材を、土留柵の材料に用いている他、間伐材を炭焼窯で焼き、バーベキューの燃料として100%まかない、トイレの消臭剤にも活用している。炭焼時に出る木酢液は、園路に散布し、コケ除去に活用するなど、この公園独自の工夫を行っている。また、地域と連携したイベントを開催している点、落葉掻き等の努力によりヤマビル被害の軽減に努めている点が評価できる。 ◆利用状況 利用状況は目的達成率85.3%でB評価、利用者の満足度は上位二段階の回答割合が99.2%でS評価となった。 利用者数は、新型コロナウイルス感染症5類移行となったが、インバウンドも含め国民全体が観光地などへの旅行が盛況傾向が続き、夏の猛暑も加わり、前年を下回ったものである。指定管理者は、利用者の利便性・安全性に配慮した取組を続け、コロナで中止となっていたイベントを再開しサービス向上に努めた。 ◆利用者の満足度 5月と11月に調査を実施し、上位2段階の回答割合が99.2%となったためS評価となった。施設の魅力向上のため、施設管理を精力的に行っており、利用者の満足度が高い。 ◆収支状況 令和5年度の収支比率は100.11%でA評価となった。老朽化が進む設備等の点検を重点的に行い、修繕及び更新により利用者サービスの向上に努めており、良好な収支状況である。 ◆苦情・要望等 年間約21万人に利用されている中で、指定管理者に起因する利用者からの苦情・要望がないことは特筆すべきものである。当公園の特色は、自然豊かな森林公園であることから、人工物が少なく、苦情の対象となる施設等が少ないこともあるが、指定管理者が利用者の視点に立った管理運営を日ごろから心がけ、業務を実施していることが伺われる。 ◆事故・不祥事等 なし ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の 満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	B	S	A	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	県と指定管理者の間で、シカやイノシシなどの野生動物の被害の現状や今後の対策方法、施設管理の課題などについて意見交換した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
	有・無	

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
神奈川県「未病改善宣言」に賛同し、具体的に取組む ・「未病改善宣言」への賛同、協力、及び公園の施設を活かした健康づくりに関する取組の実施	・公園の特性に応じた健康推進イベントの開催 ①(毎月第2日曜日)森林セラピー体験ウォーク(参加者22名) ②(毎月第3日曜日)ノルディックウォーキング(参加者16名) ・散策路、広場などの維持管理やヤマビル対策の実施 ③森林セラピー体験日帰りツアー(10月7日、8日)(参加者20名)	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、公園の施設を活かした健康づくりイベントの開催について、継続的かつ積極的な取組みを望む。
自然の中で健康づくりをサポート ・心と体の健康づくりサポートプログラムの展開、安全安心で快適な空間づくりの実施		
資源循環型管理のモデルとなる植物管理 ・園内の間伐材や落ち葉等を木材や炭、肥料等として活用	・樹林地の間伐や危険木の伐採等により発生した材で、炭窯を活用し木炭や木酢液を生産し、木炭はバーベキューの燃料として、木酢液はコケの駆除に活用した。また、製材した間伐材を案内板や土留め柵に素材に活用した。 ・落ち葉は肥料化施設で熟成させ、花苗、シャクナゲの肥料に活用した。	
年間を通じて賑わう公園づくり ・季節ごとに特色のあるイベントの実施	・「みどりの祭り」(参加者2,000人)、七沢観光協会との共催の「あつぎ七沢森のまつり」(参加者11,000人)は4年ぶりの開催となった。木工教室や木工講座など年間を通じたイベントやミニ門松づくり、落ち葉かき体験と焼きいもづくりなどの季節感のあるイベントを開催した。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、公園の多様な魅力を知っていただく機会となるイベントの開催について、継続的かつ積極的な取組みを望む。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
バーベキュー場の運営	計画どおり実施した。 令和5年度実績 利用者数 4,691人

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和5年度
利用者数※	259,332	228,750	211,667
対前年度比		88.2%	92.5%
目 標 値	302,400	247,000	248,000
目標達成率	85.8%	92.6%	85.3%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは2回実施	協定に定めた年間2回を5/21、11/3に実施した。 上位二段階の回答割合は昨年度とほぼ変わらないが、「満足」と回答した人の割合が約9%減少した。なお、不満に関するコメントはなかった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の運営管理状況を総合的に見るといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 115 / 115 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	85	28	0	1	0	114	除草や枯木の伐採等行き届いている。 よく管理されている。
回答率	74.6%	24.6%	0.0%	0.9%	0.0%		
前年度の回答数	90	18	0	2	0	110	
前年度回答率	81.8%	16.4%	0.0%	1.8%	0.0%		
回答率の 対前年度比	91.1%	150.1%		48.2%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備 考>

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	75,291	0	5,805	駐車場 4,746 自販機 1,059	81,096	81,096	0	
	決算	75,291	0	5,654	駐車場 4,329 自販機 1,325	80,945	79,838	1,107	101.39%
前年度	当初予算	78,150	0	4,680	駐車場 3,621 自販機 1,059	82,830	82,830	0	
	決算	78,150	0	4,016	駐車場 3,319 自販機 697	82,166	81,377	789	100.97%
令和5年度	当初予算	78,150	0	4,680	駐車場 3,621 自販機 1,059	82,830	82,830	0	
	決算	78,418	0	3,445	駐車場 2,735 自販機 710	81,863	81,771	92	100.11%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位:千円)
令和5年度 /	前年度 /	前々年度 /	

＜備 考＞

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☐ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。